

臨床研究 「乳頭筋近傍の Purkinje 網を起源とする特発性左室心室頻拍」について

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。本研究の概要は以下のとおりです。

【研究の意義・目的】

器質的心疾患を伴わない患者さんにも、特発性心室頻拍と呼ばれる命に関わる不整脈を突然発症することがあり、この不整脈をコントロールすることは非常に重要なことです。カテーテルアブレーション治療により特発性心室頻拍を治療することが可能です。左心室を起源とする特発性心室頻拍に対するカテーテルアブレーションの方法や治療成績については既に多くの報告があります。これまでの報告では、心室頻拍中の心電図波形やアブレーションの成功部位により3群に分類されており、いずれも左心室中隔を起源とするものです。しかし左室乳頭筋近傍をアブレーションすることにより抑制される特発性左室心室頻拍は治療に難渋することが少なくなく、その特徴に関する研究はまだ十分になされていないのが現状です。この研究を進めることにより、左室乳頭筋近傍を起源とする特発性心室頻拍をより効果的に治療できるようになることが期待されます。

【研究対象】

2008年1月1日から2016年6月30日までの間に、器質的心疾患を伴わない特発性左室心室頻拍に対してカテーテルアブレーション治療を施行した患者さんの中で、アブレーション成功部位が左室乳頭筋近傍であった患者さんが研究対象となります。

【研究機関名・研究者名】

この研究は筑波大学附属病院を主導研究機関とし、横浜労災病院、大垣市民病院、滋賀医科大学附属病院、福島県立医科大学附属病院を共同研究機関とする多施設共同研究です。

主導研究機関名・研究責任者：筑波大学附属病院

医学医療系 臨床医学域 循環器内科 青沼和隆

【保有する個人情報に関する利用目的】

器質的心疾患を伴わない特発性左室心室頻拍に対してカテーテルアブレーション治療を施行した患者さんの中で、アブレーション成功部位が左室乳頭筋近傍であった患者さんが研究対象として、過去の診療記録を用いて不整脈の特徴やアブレーション治療の成績を調査するものです。過去の診療記録から下記の項目を調査します。

調査項目：

- ・ 診断病名
- ・ 年齢、性別、受診日、自覚症状、既往歴、手術歴（心臓カテーテル治療を含む）、現疾患（糖尿病、高血圧、高脂血症、高尿酸血症、慢性腎不全、心不全の有無）、治療内容（アブレーションに関するデータを含む）、埋込型除細動器の有無など
- ・ 12誘導心電図（洞調律中および心室頻拍中）
- ・ 心エコー（左室駆出率,左室径, false tendonの有無など）
- ・ 来院時と治療後の内服薬、治療後経過と転帰

【保有する個人情報保護の方法】

本研究では、対象患者さんの個人情報を保護するため、本研究に携わる研究者は割り当てられた登録番号で臨床データを識別します。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために学会や論文で公表されることがありますが、その場合も個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には個人の特特定ができないように配慮されます。

【研究終了後の個人情報の取り扱いについて】

研究終了後 10 年間はデータを保存し、その間も個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には個人の特特定ができないように配慮されます。その後すべてのデータを廃棄します。

【保有する個人情報の開示手続】

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合は、いつでも

も下記問い合わせ窓口までご連絡ください。

データ使用の取り止めについて：あなたがデータ使用の取り止めを希望される場合には、いつでも下記問い合わせ窓口までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合があります。

【保有する個人情報の問い合わせ窓口】

担当医師： 筑波大学附属病院

医学医療系 臨床医学域 循環器内科

野上昭彦

住所：〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話：029-853-3143

FAX：029-853-3143

問い合わせの対応可能時間：平日 9時から 17時まで